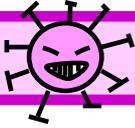


感染症に気をつけよう!

2018年【8月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
<u>A型肝炎*</u>	★ 散发	➡ 横ばい	ウイルスに汚染された食品等から感染しますが、性的接触による報告が多い状態です。【'14.4号】
<u>RSウイルス感染症**</u>	★ やや流行	➡ 増加	これまで冬に流行していましたが、今年は昨年と同様に6月中旬から増加しています。
<u>ヘルパンギーナ**</u>	★ やや流行	➡ 増加	夏かぜのひとつです。1歳から4歳くらいまでの子どもを中心に、増加傾向にあります。【'16.8号】
<u>咽頭結膜熱**</u> (プール熱)	★ 流行	➡ 横ばい	例年、7月頃にピークがあり、保育園や学校での集団発生も報告されます。【'18.6号】【チラシ】

今、気をつけたい感染症 海外旅行の時は...



渡航前に...

- 国内ではほとんど発生しませんが、海外では感染の危険性が高い感染症がいろいろあります。
- 安全で楽しい旅をするために、このような感染症について、正しい知識***を身につけておくことが大切です。



予防接種を...

- ワクチンで予防できる感染症もあります。
- 出かける地域や期間等に応じて、接種を検討***しましょう。



帰国後は...

- 入国時に健康上心配なことがある場合には、空港や港の検疫所に必ず相談***してください。
- しばらくしてから具合が悪くなったら、事前に医療機関へ電話し、渡航先・滞在期間・飲食物・動物との接触などを伝えてから、すぐに受診しましょう。



海外旅行...

【参考ホームページ】

*: 国立感染症研究所

** : 厚生労働省 *** : 検疫所 FORTH

